



前田ハイツの「潤滑油」おとなりサポート隊 全住民アンケートをもとに福祉活動を展開

横浜市住宅供給公社が43年前から分譲した前田ハイツ（現世帯数約440世帯）（写真→）に自助ボランティア組織「おとなりサポート隊」が誕生して来年春で20年になります。「戸塚区支えあい活動」の一環として戸塚区役所、戸塚区社会福祉協議会の支援・指導を受けて始まりました。発足当初から何を実施するかを全住民アンケートで決めています。



活動の中心になるのが「支えあい活動」で、粗大ゴミ搬出手伝い、ものの修理、学童保育の見守り手伝いなどがあります。

住民交流の場の提供にも力をいれており、集会所で茶会「水曜サロン」を月2回開催。その「特別企画」として昨年度はプロのマリンバ奏者 市瀬孝子さんのグループによる演奏が大好評でした。今年も和太鼓のチーム「玉響（たまゆら）」（写真↓）による演奏を予定しています。なお、市瀬孝子さんのグループには、これがご縁で今年の「社会を明るくする運動川上地区の集い」でも演奏いただいています。（次ページ写真）毎年秋に近郊への日帰りバスツアー「花散歩」を実施しており、今年も深大寺に行きました。

2年前にははじめた「カット・ワタナベ」（写真↓）は、家庭ゴミや資源ゴミに出しにくいものを小さくカットするサービスを100円から200円で引き受けています。毎月第三日曜午前、おとなりサポート隊メンバーの渡辺清一さんをリーダーに2～3名で電動工具などを使い、手際よく金属製品や家具などをゴミ出しできるサイズにカット。ゴミ置き場が大変綺麗になったと大好評です。



川上地区社会福祉協議会へのサポートも長年続けて頂いており、今年度も若葉会3回、更生バザー、ひまわり6回のサポートを実施・予定いただいています。さらに自治会夏祭りに出店もおこなうなど地域の活性化にも貢献しています。

岡部光雄さん（代表）の話：高齢化の進展をうけて、昨年全戸に福祉活動の要望アンケートを実施しました。その参加意向設問に「ワンポイントなら良い」と回答いただいた方も加わり、それまでの19名が31名（今年10月現在）になりました。これからも地域の潤滑油になれるような活動をしたいと思います。

岡部光雄さん（代表）の話：高齢化の進展をうけて、昨年全戸に福祉活動の要望アンケートを実施しました。その参加意向設問に「ワンポイントなら良い」と回答いただいた方も加わり、それまでの19名が31名（今年10月現在）になりました。これからも地域の潤滑油になれるような活動をしたいと思います。



第69回社会を明るくする運動「川上地区の集い」

振り込め詐欺対策を呼びかけ プロ演奏家のマリンバも堪能

7月14日（日曜）10時から、秋葉町町内会館に111名にご参集いただき、川上地区社会福祉協議会主催、川上地区連合町内会の後援にて開催しました。「社会を明るくする運動」は法務省主唱で国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的運動で今年は69回目でした。



出席いただいた戸塚警察署・生活安全課長の小林俊之警部（写真A）から振り込め詐欺対策について「昨年の県下の1日平均の被害額は約7件、千6百万円もあり、戸塚署管内は県内でワースト3」など深刻な実態を紹介のあと、「銀行員・警察を名乗る人物からキャッシュカードにかかわる話」、「息子や孫、自治体職員から電話」「はがき、メールで未納金や訴訟通告」など、実際にあった数々の詐欺の手口を紹介。だまされないためには留守電設定が有効であることなど、具体的対策の呼びかけがありました。



戸塚区社会福祉協議会の小泉智恵美 事務局次長から「人は帰れるところがあれば生き直せる。川上地区は帰れるところ」との挨拶に続き、地区内の校長先生から学校の様子の紹介と地域の見守りや支援への感謝を交えた挨拶がありました。ビデオ「再犯防止のために～立ち直りを支える社会へ」を鑑賞し更生保護活動への理解を深めました。川上地区の鈴木浄元保護司（写真A）から「保護司になって12年目、昨年からは一人で忙しく更生保護活動を実施している」など活動状況を紹介「地域社会が更生を後押しするのでよろしくお願いします」と締めくくられました。



アトラクションとしてプロの演奏家をお迎えした「市瀬孝子マリンバコンサート」（←写真）を併催。ビゼーの歌劇カルメンをマリンバに編曲した「カルメン・ファンタジー」、アンダーソンの「ザ・タイプライター」、モノーの「愛の賛歌」はじめ、内外の名曲の迫力ある生演奏を堪能しました。

SDGs (持続的開発目標)とは？

地区懇談会で北海道下川町、品濃小学校の実例交え紹介

9月7日に秋葉町町内会館で開催された今年の地区懇談会（川上地区連合町内会主催・戸塚区役所後援）のテーマはSDGs（エス・ディー・ジーズ）。地域活性化、教育について、戸塚区・川上地区と交流がある北海道下川町、品濃小学校から発表がありました。SDGs「Sustainable



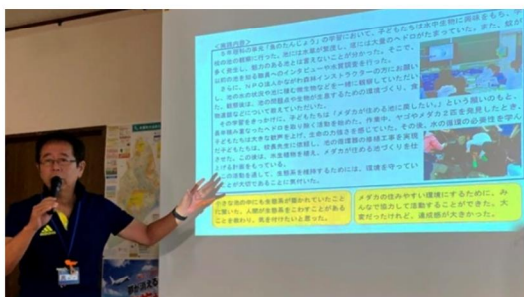
Development Goals（持続可能な開発目標）」は、国連が2015年に制定した加盟193か国が2016年から2030年の15年間で「持続可能な開発」を達成するために掲げた目標。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲット、232の指標で構成されています。（上図は国連が制定したロゴ）日本でも政府はじめ各自治体、企業などで推進し、毎年進捗を国連に報告しています。横浜市をはじめ全国の自

治体では具体的なターゲットを決め「持続可能な成長戦略」をすすめています。町内会・自治会や社協の活動においても「3.すべての人に健康と福祉を」「11.住み続けられるまちづくりを」「13.気候変動に具体的な対策を」など、いくつものターゲットにヒットすることから、今後の活動を考える上で有意義なものになりました。

北海道下川町(政策推進課/SDG s 推進戦略室・篠島 豪 室長)の発表:(写真→) SDG s の基本理念紹介のあと、「SDG s 未来都市しもかわ 人と自然を未来へ繋ぐ『しもかわチャレンジ』」を紹介いただきました。地域内活動で「ありたい姿の実現を考える住民有志の会」「未来の下川町を考えるワークショップ」など、住民が主体に立ち上げたSDG s の理念を取り入れた事例を紹介いただきました。質疑応答のなかで、住民への広め方について、住民自らの意志を尊重するとともに、広大なエリアをカバーするために、町で設置した「IP電話」が有効に機能しているとのこと。



品濃小学校(坂井 暢校長)の発表:(写真)「第3期横浜市教育振興基本計画(2019-2022)」で「持続可能な学校への変革」の冒頭に「SDG s との関連性を意識した教育活動の展開」と記されており、職員研修でもSDG s の必要性を認識し教育と結びつけています。具体的活動の事例として、ヘドロの溜まっていた学校の池の再生や名瀬の里山の会との連携、横浜ローズプロジェクトで「裏庭の再生」、プラスチックのリサイクルで生まれた布を考える、こども目線で街をみて「街に花を飾る」「街の清掃」など5年生、6年生の活動を紹介いただきました。



具体的な活動の事例として、ヘドロの溜まっていた学校の池の再生や名瀬の里山の会との連携、横浜ローズプロジェクトで「裏庭の再生」、プラスチックのリサイクルで生まれた布を考える、こども目線で街をみて「街に花を飾る」「街の清掃」など5年生、6年生の活動を紹介いただきました。

これからの催しご案内

ふれあいサロン「ひまわり」秋葉町、前田町にお住まいの方ならどなたでも歓迎。

どなたでも参加できるサロンです。毎回講師をお迎えするなどして、ゲーム、手工芸、講演会、音楽会、体操などを行っております。

軽食も御用意しております。談話、軽食だけでもお気軽にどうぞ。

原則 第三金曜日 10:00~13:00 参加費 300 円。催しにより材料費等実費。



開催日時 (曜) 時間	開催場所	主な催し(予定)
11 月 15 日 (金)10:00	秋葉町町内会館	子育てサークルと共催
12 月 20 日 (金)10:00	前田町町内会館	子の根付け(写真右)作成
1 月 17 日 (金)10:00	秋葉町町内会館	正月にちなんだ遊び
2 月 21 日 (金)10:00	前田町町内会館	脳トレ手遊び



3月の「ひまわり」はございませんのでご留意下さい。

川上地区更生バザーは終了しました

平成 21 年より 5 月と 10 月の年 2 回、前田町町内会館の協力を得て開催して参りましたが、年間を通じての物品の収集・保管、ボランティアの高齢化等により、残念ですが終了することに致しました。地域の皆様の物品提供・購入、ボランティア・更生保護女性会の協力に心からお礼を申し上げます。これまでの売り上げは戸塚区更生バザーに寄付し、更生保護事業に活用させていただきました。(更生保護女性会 寺尾伸子・伊藤紀子)

子育てサークル「ぶらんこ」

対象者：秋葉町、前田町にお住まいの1歳から入園前のお子様と保護者

子育てサークル「ぶらんこ」は、川上地区主任児童委員が実施し、民生・児童委員やボランティアがお手伝いして、お子様と楽しい時間が持てるよう開催しています。お母さん同士の情報交換やお友達作り、悩み相談等、地域の高齢者と交流し「地域で子育て！」を応援していきたいと思えます。季節にちなんだ工作、新聞や風船を使った遊び、人形劇や音楽会もありますよ。

開催日程：下記 10:00～11:30 事前申込不要 参加費無料

【お問合せ】主任児童委員

メール: kawakamichiku_shunin0815@yahoo.co.jp



日付	(曜) 時間	開催場所	日付	(曜) 時間	開催場所
11月15日	(金)10:00	秋葉町町内会館	2月17日	(月)10:00	前田町町内会館
12月16日	(月)10:00	前田町町内会館	3月16日	(月)10:00	秋葉町町内会館
1月27日	(月)10:00	秋葉町町内会館			

男の料理教室は「肉じゃが」 まだ間に合います！

秋葉町、前田町にお住まいの男性ならどなたでも大歓迎です

第19回目となる今回は「肉じゃが」(写真右は試作)。お料理の基本とコツを体得頂くとともに、地域の皆様とお知り合いになれる場としても好評をいただいています。秋葉町、前田町にお住まいの男性の方ならどなたでも大歓迎です!! お申込みは下記まで。



- ・日時：11月9日(土曜) 10:00～13:00
- ・場所：前田町町内会館 (戸塚区前田町505)
- ・参加費：400円 (材料費等含む)
- ・定員：30名(先着順)
- ・持参品：エプロン、手ぬぐい



男の料理教室 参加申込

- 【1】 「男の料理教室」を標題とし、住所、氏名、電話番号 を kawakamishakyo@gmail.com へメール(推奨)(携帯・スマホ可)
- 【2】 ここへ記入し FAX するか同内容(行事名、連絡先)を留守録音する FAX/留守電番号:(行事終了につき削除しました)

住所： 町 — 電話番号：
氏名： (メール @)

個人情報は目的外には使いません。万一に備え行事保険に加入しますので、正確に記載願います。

本紙作成費の一部に赤い羽根共同募金からの助成金が使われています。
バックナンバーは「戸塚区社協ホームページ」に掲載されています。



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金